

ゴッホがみらい

広報



シンボルマーク



熱気球が初飛行

8月6日に初めて披露された2基の熱気球

市ではこのほど、災害予防や防火意識高揚のため熱気球二基を購入し、八月六日デモンストレーションの係留飛行をしました。

購入した熱気球は、二基ともアメリカ製で、高さが十九・二メートル、直径十七メートルの四人乗り。ガスバーナーの火力調節で、三十メートルから千メートルの高さで飛行することができます。本体には当市の夏まつりにちなんで、ねぶたと虫おくりの絵をデザインしています。

八月三日には、「五所川原消防署飛行隊」(隊員数・三十三人)の結成式が関係者多数の出席により行われました。

市ではこの気球を、防災活動、交通安全などのPRに加え、災害発生時の状況調査など上空から調査するとともに各種イベントにも活用することとしています。

市町村が消防、防災活動を目的に熱気球を購入したのは全国でも当市が初めてで、関係方面から注目されています。

平成3年

8.15

No.741

人口と世帯

	人口	世帯	前月比
男	23,716		(- 6)
女	26,415		(+ 5)
計	50,131		(- 1)
世帯数	16,412		(- 2)
(6月30日現在 住民基本台帳)			

燃えた!
「ごしよがわら虫おくりと火まつり」



虫おくり研究会の台車のついた虫おくり山車の初出陣（虫の本体は県産ヒバ材使用）なかなか立派ですね



錦町出身で、現在東京在住の山谷清昭さんの寄贈による金色のみこしと、初披露に喜ぶ錦町のみなさん



「市長賞」に輝く白生会の「巖流島の決闘」武蔵、小次郎とも、なんと、いい男。



国際交流ボランティアの紹介により当市のまつりを楽しむ三沢米軍基地のみなさん



それ、走れ！ 虫の昇天だア
五穀豊穣間違いなし

八月四日の、虫おくりを皮切りに、四日間にわたって繰り広げられた夏まつりは、期間中、例年を上まわる、五十二万人の人数に溢れ熱気のうちに終了しました。

「ほ ほえむ春だあよ〜」
五所川原音頭にのる、あね様達の華麗なおどり



夏、まっさかり!!
「水と、光と、音の祭典」

21世紀の市政を展望 「小さな世界都市」づくりを目指す

市総合開発計画案を審議会に諮問

第二回五所川原市総合開発審議会(川口亀十郎会長)が七月八日、市中央公民館で開催されました。

審議会では初めに佐々木市長が「国は、第四次全国総合開発計画の中で地域の自立と地域間の交通、通信ネットワークを強化するこ

とによって、地方の活性化を図ることを目的とした交流ネットワーク構想を提唱しています。当市もそれをうけて計画の策定を致したところであり、内容的に幾つかの指針、施策を素材として提案しておりますが、委員の皆様にご検討を

いただき、二十一世紀へ向けた市政の展望をまとめあげたいと思います」とあいさつを述べた後、「二十一世紀五所川原市総合開発計画(案)が諮問されました。

川口会長のあいさつに続いて、事務局(企画調整課)から「国際化、情報化、高齢化など時代の変化に的確に対応し、市の可能性を世界に向けて最大限に発揮することを狙いとした『小さな世界都市』づくりを基本像にすえた二十年の基本構想」について説明。

さらに、委員から事前に提出された質問、提案等の三十項目について報告された後、審議に入りました。

また、七月二十二と二十三日の両日、各部会が開かれ基本計画(十年)について審議され、今後さらに二回、部会を開催することにして

います。(各部会長等は別表のとおり)



佐々木市長(右)から諮問書を手渡される川口会長(左)

また、七月二十二と二十三日の両日、各部会が開かれ基本計画(十年)について審議され、今後さらに二回、部会を開催することにして

生涯生活政策部会	部会長	成田 守 (青森県議会議員)
	職務代理者	中谷惣一郎 (市農協組合長)
生涯健康政策部会	部会長	三和 満 (岩津軽鉄道代表取締役)
	職務代理者	山内 政 (市体育指導員協議会委員)
生涯教育政策部会	部会長	戸澤 一光 (青森職業訓練短期大学校長)
	職務代理者	田中 和弘 (前市小・中学校長会会長)
生涯福祉政策部会	部会長	山谷 清 (人権擁護委員)
	職務代理者	千葉 勝廣 (民生児童委員)

旧家所蔵古文書の 合同調査を行う

市史編集委員会

五所川原市史編集委員会(委員長・長谷川成一弘前大教授)では、七月二十日から二十五日までの日程で、市内の旧家所蔵古文書の合同調査を行いました。

家工藤哲己の関係史料、江戸時代の農村、医療等の貴重な古文書が数多く確認されました。

市史編集委員会では、これらの史料をさらに詳細に分析する予定です。また、市史編集室(三三四―三二五六)では、今後とも市民からの史料提供を期待しています。

また、市史編集室(三三四―三二五六)では、今後とも市民からの史料提供を期待しています。

板垣退助の礼状や現代画



合同調査を行う委員の皆さん

21世紀五所川原 市民会議

地域集会の日程決まる

市民の皆さん!!

日頃から行政に望みたいこと、こうあるべきだと思っていることはありませんか。

市では、次の日程で21世紀五所川原市民会議地域集会を開催します。

農業問題、ふるさとづくりへのご提言、ゴミやし尿の問題など、何んでも結構です。

どなたでも自由に参加し、自由に発言してく



昨年の地域集会風景

ださい。集会の後には、ささやかですが懇親の時間も用意しております。

是非、ご近所お誘い合わせのうえご参加ください。

◎日 程

月	日	曜日	時 間	対象地区	開催場所	月	日	曜日	時 間	対象地区	開催場所
9	5	木	13:30~	三好地区	コミュニティセンター三好	9	27	金	10:00~	梅沢地区	梅沢コミュニティセンター
	6	金	13:30~	中川地区	コミュニティセンター中川					13:30~	七和地区
9	9	月	10:00~	毘沙門地区	毘沙門・長富コミュニティセンター	10	3	木	10:00~	小曲地区	農村婦人の家
			13:30~	飯詰地区	コミュニティセンター飯詰				13:30~	五所川原(北)	しきしまコミュニティセンター
9	11	水	10:00~	長橋地区	コミュニティセンター長橋	4	4	金	10:00~	栄地区	コミュニティセンター、栄
			13:30~	松島地区	コミュニティセンター松島				13:30~	五所川原(南)	富士見コミュニティセンター

市庁舎周辺を草取り奉仕

—生活学校のみなさん—

五所川原生活学校(三橋さとる委員長)では七月二十九日、会員約二十人が参加して市庁舎周辺の草取りをし、市民から喜ばれました。



草取りに精を出す生活学校のみなさん

同生活学校は、全国組織の下、資源確保の一環として古紙再生のために牛乳パックの回収、さらに、環境問題(ゴミ)等についても学習しているグループです。

この日は、日頃お世話になつておるお札と生活学校を市民によく知つてほしいことから行つたものです。

県民手帳等の 刊行物予約受付

▽平成四年版 県民手帳

一部 四〇〇円

▽平成三年版 県勢グラフ

一部 三五〇円

▽平成三年度 青森県の姿

一部 一、四〇〇円

▽申し込み先

市役所企画調整課統計調査係(☎35-21-1内線 三一五・三二六)

※なお、各町内でも回覧で申し込みを受けております。

東北総合体育大会開催

～ソフトボールと柔道～

第18回東北総合体育大会が本県で開催されますが、当市においては、昭和52年の「あすなろ国体」と同種目のソフトボールと柔道競技が行なわれます。

▷ソフトボール競技

○期日 8月30日(金)～9月1日(日)

○会場 市営球場(成年女子)

北斗グランド(成年男子1部・2部)

五所川原商業高等学校グランド(少年男子・女子)

▷柔道

○期日 8月31日(土)～9月1日(日)

○会場 市民体育館

▷東北総合体育大会五所川原市実行委員会事務局

市教育委員会社会教育課内 内線250番

市民プールからのお知らせ

8月18日(日)水泳運動会が開催されますので参加申込みされた方以外は、午前中の遊泳はできません。

一般の方は、午後1時からの遊泳となります。



よみがえる水-美しいまち

目覚めの水(水と健康)

私達の胃腸は、眠っている間、自律神経によってコントロールされています。朝一杯の水を飲むことにより、胃が刺激を受け、鎮静化している働きを活発にし、食欲の増進をもたらします。

水が冷たい程、腸に対する刺激も大きくなり、せん動運動も大きくなります。コップ一杯の水で、心も体もリフレッシュ!

(建設省津軽ダム工事事務所)

給できるなどの働きを持ち、治水、利水の両面から、早期の完成が望まれています。

水のある豊かな暮らしを未来へ 全国水の週間(8月1日～8月7日)

津軽ダムの建設

水は私達の命の源です。水は、農業、工業、水力発電等、毎日の暮らしを支える貴重な資源です。
おいしい水、きれいな水のある豊かな暮らしを、未来へ伝えて行きましょう。

将来にわたり、岩木川を安全に管理するため、当市を含む、二十八市町村が建設を促進しているのが、「津軽ダム」です。
西目屋にある現在の「目屋ダム」と、ほぼ同じ位置に建設が予定されています。
このダムは、多目的ダムで、水害からの防御をはじめ、水道用水、工業用水などのほか、夏でも川に、安定した流量の水を供給できるなどの働きを持ち、治水、利水の両面から、早期の完成が望まれています。



平成3年度市合同金婚式

今年も、めでたく結婚50年を迎えられた長寿ご夫婦を心からお祝いするため、合同金婚式を行います。

▷対象夫婦 婚姻届以来50年(昭和16年届出)を経過したご夫婦。確認のため戸籍謄本が必要です。

▷申し込み締切 8月30日(金)

▷日時、場所については、追ってお知らせします。

▷お申し込み 市福祉事務所福祉係へ (☎35-2111(内線294))

料理教室

—働く婦人の家—

▷内容 夏を健康に のりきる料理

▷日時 8月22日(木) 午後6時30分～8時30分
8月23日(金) 午前10時～正午

▷募集人員 両日とも20人

▷対象者 市内に住所、又は勤務先を有する婦人。

▷締切り 定員になり次第しめ切ります。

▷受講料 無料(材料費は各自負担)

▷申し込みと問い合わせ

市内新町 働く婦人の家 (☎35-8898)

平成3年度弘前大学公開講座

—くらしの中の科学と文化—

この講座は、弘前大学教養部に勤めている、多彩な分野の研究者による、文化、教養の講座で、内容もやさしく豊富です。皆さん、気軽に参加して下さい。

▷日 程 等

開催月日	時 間	講 義 題	講 師
9月3日(火)	18:00~20:30	津軽の英学 —アメリカ文化の衝撃と波動—	弘前大学教授 山 本 博
9月6日(金)	18:00~20:30	為替相場を考える —円レートとくらし—	弘前大学教授 斧 田 好 雄
9月10日(火)	18:00~20:30	津軽弘前藩の武芸について —「当田流太刀」浅利伊兵衛(明暦2年(1655年) —享保3年(1718))の生きざまを探る—	弘前大学教授 太 田 尚 充
9月13日(金)	18:00~20:30	くらしと生態系 —人類の生活と自然生態系の関係をさぐる—	弘前大学教授 牧 田 肇
9月17日(火)	18:00~20:30	「進化」の考えをめぐって —世間の常識と科学—	弘前大学助教授 佐 原 雄 二
9月20日(金)	18:00~20:30	デュルケム「自殺論」と現代の日本社会 —金持ちニッポンのゆくえを考える—	弘前大学助教授 武 田 共 治

▷会 場 弘前大学教養部23番講義室

▷受講対象者 一般市民他

▷募集人員 50名

▷申込受付期間 7月22日(月)~8月24日(土) (募集人員に達し次第締め切ります。)

平日 午前9時~午後4時 土曜日 午前9時~正午

▷申 込 先 〒036 弘前市文京町1番地 弘前大学教養部庶務係
電話 (0172) 36-2111 内線5103~4

▷申 込 方 法 下の申込書に所定の事項を記入し、受講料を添えて申込んでください。

▷受 講 料 4,120円 (テキスト代を含む)

▷修 了 証 書 総講義時間数の3分の2以上出席の方に授与します。

▷そ の 他 開講式(9月3日(火))並びに閉講式(9月20日(金))を行います。

弘前大学公開講座(くらしの中の科学と文化)受講申込書

氏 名	住 所	年 令	性 別	職 業	勤 務 先
TEL: .					TEL: .



フリーマーケットへ

あなたも出店してみませんか

岩木川「河川まつり」(コスモスまつり)会場

▷とき 平成3年9月15日(日) 9:00~16:00

▷ところ 岩木川河川敷(乾橋下流)

母 なる岩木川の「魅力」と「尊さ」を再認識し、限りある資源を大切にすることをテーマにリサイクルショップを開催します。

個人で、又はグループで、各家庭に眠っている

品物(古着、古本、食器、電気製品、その他)

なお、場所に限りがありますので、お早めにお申し込み下さい。

▷募集しめ切り 平成3年8月31日 16:00まで

▷参加料 無料です

▷問い合わせ 建設部土木課 高橋(内線224)



おしらせと募集

市役所 ☎35-2111

91「くらしと趣味の教室」開講

— 伸ばせ世界へ、若い力を —

- ▷ **受講対象** 市内に住所、又は勤務する勤労青少年で、おおむね、15歳～30歳迄の男女。但しこの年齢以外で受講希望の方は、下記へお問い合わせ下さい。
- ▷ **受講料** 無料(材料代は本人負担)
- ▷ **期間** 9月10日(火)～11月21日(木)
- ▷ **時間** 午後6時30分～8時30分
- ▷ **申し込み締切り** 9月3日(火)
- ▷ **申し込み及び問い合わせ** 勤労青少年ホーム ☎34-3602

▷ 講座内容

曜日	教室名	定員	回数	内 容
火	料理	10	10	手作り料理で、ご家族ヘルシー
	陶芸	10	12	ご自分で、湯呑み茶碗や、花瓶を。
	茶道	10	10	お茶の基本(裏千家)、あなたに優雅さを。
	はがき絵	10	10	季節の草花を絵筆にたくして、お便りを。
水	社交ダンス	15	10	優しく踊れて、楽しい触れ合い。
木	生け花	10	10	お勤めに、ご家庭に、あなたの優しさを。
	ボールペン字	10	10	実用ボールペン字で、真心のお便りを。
	着付け	15	10	着こなしと、女らしさのポイントを。
金	組ひも	10	10	各種初歩から完成までを、親切に。
	手芸	10	10	可愛い小物入れ他、プレゼント品まで。

あすを拓くあすなる県民運動 作文コンクール募集

- ▷ **テーマ** 「私の描く未来のくに青森」
サブタイトル「2001年の私のふるさと」
豊かで住みよい、活力ある郷土づくりを基本として、21世紀の郷土をいかに発展させるか、作文を募集するものです。
- ▷ **応募資格** 小学生・中学生・高校生・一般
- ▷ **原稿枚数** 400字詰原稿用紙5枚以内
- ▷ **応募締切** 平成3年8月31日(当日消印有効)
- ▷ **送り先** 青森市長島1-1-1
県生活福祉部県民生活課
あすを拓くあすなる県民運動推進協議会
☎0177-22-1111 (内線2227)

南部史跡・文化財めぐり

青森県歴史の道整備促進協議会では、「南部史跡・文化財めぐり」を行ないます。皆さん多数のご参加をお待ちしております。

- ▷ **日時** 9月8日(日)
- ▷ **コース**
五所川原中三デパート前発6:00～鶴田～板柳～藤崎～黒石～十和田湖～奥入瀬～新渡戸記念館～南部公霊廟～三戸城、温故館～田子城跡～発荷峠～黒石～藤崎～五所川原中三デパート前着19:30
- ▷ **集合場所・時間** 五所川原中三デパート前(市内本町) 午前6時まで
- ▷ **会費** 1人 5,400円(見学科、昼食代含む)
- ▷ **申込み先** 青森市大字松森字佃
青森県歴史の道整備促進協議会事務局
(☎0177-42-1064番)
- ▷ **申込み締切** 9月6日(金)
- ▷ **申込み受付時間** 午前8時30分～午後4時まで(日曜日を除く)

西北五Rh(-)友の会ご案内

＝友の会の目的＝この会は、会員が輸血のためRh(-)型血液を必要とするとき、会員が相互に血液を提供しあい助けあうことを目的として発足しました。
＝友の会の必要性＝Rh(-)血液型の人は、自分が輸血を受けるときや、Rh不適合妊婦によって生まれ重症の黄疸にかかった自分の子供のためにも、Rh(-)型の血液が必要になります。血液センターでは全国的組織で、Rh(-)型血液を確保するよう努めています。緊急に多量の輸血をする場合などのため西北五では、西北五Rh(-)友の会を結成し、いつでも助け合えるよう呼びかけています。

◎西北五地区のRh(-)血液型の人なら誰でも入会できます。

《西北五Rh(-)友の会についてのお問合せ、入会申込みは》市役所保健環境課内 ☎35-2111 内線272

自分のごみはどこからでも 「持ち帰る」がルールです。

ごみ箱のまわりが、ごみの山なんていう、観光地もありますね。

一つでもごみがあると、つい、ポイと捨てたくなる気持。これが、ごみがごみを呼ぶ心理的な連鎖反応です。観光地の景観を、気持ちよく満喫するために、自分のごみは、自分で持ち帰る。本当に、いいことですね。

ほけんだより 市役所 35-2111

この欄の問い合わせ

保健環境課 (内線268・272)

9月の栄養教室

野菜を食べて“健康パワー”を充分に!

開催月日	対象地区	開催場所	締め切り日
9月3日(火)	梅田、中泉	コミュニティセンター梅沢	8月27日(火)
9月6日(金)	前田野目	前田野目公民館	8月30日(金)
9月11日(水)	飯詰、下岩崎	コミュニティセンター飯詰	9月2日(月)
9月18日(水)	五小学区(小曲は除く)	保健センター	9月9日(月)
9月19日(木)	南小学区 (大町、森町、赤沼町、弥生町、本町、鎌谷町、鳥森、ツツ谷下り、枝、八重葎)	保健センター	9月11日(水)
9月20日(金)	南小学区 (宮本町、不魚住、川端町、栄町、新町、田町、寺町、藤沼元町、柳町)	保健センター	9月11日(水)
9月25日(水)	松島町	保健センター	9月17日(火)

▷テーマ：栄養の知識を学び、習慣病といわれる成人病を防ごう!

▷時間：午前9時30分～午後1時

▷料金：無料

▷持参するもの：エプロン、筆記用具、ごはん、みそ汁(小びんなどに入れて)、健康手帳、食事しらべ用紙(地区の保健協力員からもらってください)。

▷申し込み先：地区の保健協力員へ(参加申し込み用紙があります)。

はしか 予防接種

今回は、対象となる幼児の保護者の皆さんに予防接種の方法等について、個々に通知しましたが、転入等の関係で通知されなかった方もいらっしゃると思います。今回からは、新たな問診票でしか接種できませんので、お手数ですが、事前に保健環境課へご連絡ください。問診票とMMRワクチンの接種についての説明書をお送りいたします。

対象幼児	昭和63年9月1日から平成2年8月31日までに生まれた幼児。
実施期間	9月6日(金)から9月13日(金)まで。
実施方法	説明書に記載されている医療機関で直接受けてください。
持参するもの	(1)母子健康手帳 (2)事前に返付している問診票
注意事項	(1)すでにこの予防接種を受けられた子供さんおよびはしかにかかった子供さんは、改めて受ける必要はありません。

9月の保健センター相談日

9月6日、13日、20日、27日です。(毎週金曜日)

▷時間 午前10時から午後3時まで。

▷内容 血圧測定、尿検査等を含めた健康相談に応じますので、赤ちゃんからお年寄りまでお気軽にご利用ください。

乳幼児の健康診査

▷場所 市保健センター

▷受付時間 12:30~12:45まで

▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。
3歳児はアンケートと尿を小ビンに入れて持参ください。

※注意 ①6ヵ月健康相談につごうで来なかった場合は、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを、母子健康手帳を持参のうえ保健環境課窓口にもらいにきてください。(6ヵ月7ヵ月児に限る)。

②病気療養中(特に伝染性の病気)のおひさんはご遠慮ください。

③6ヵ月健康相談の際、「子供の応急処置について」お話があります。

月 齢	対象児	期 日	内 容
3ヵ月児	H3年 5月生まれ	9月10日(火)	健康診査
6ヵ月児	H3年 2月生まれ	9月17日(火)	健康相談 健康教育
1歳児	H2年 8月生まれ	9月30日(月)	健康相談
1歳6ヵ月児	H2年 3月生まれ	9月24日(火)	健康診査
3歳児	S63年 5月生まれ	9月19日(木)	健康診査

交通安全は家庭から

(平成3年) 県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

発生	6月	累計	死者のうち	飲酒運転による死者		9
				シートベルト着用義務者(着なければならぬ人)	非着用者(着けていなかった人)	
598	(707)	3,579	(3,325)	31	26	
10	(10)	59	(57)	うち、着けていれば助かったと思われる人	3	
731	(830)	4,360	(4,108)			

()内は前年。累計は1月から

夏の交通安全運動 (期間 7月21日~7月30日)

運動の重点

①飲酒、暴走等無謀運転の追放 ②子供と高齢者の交通事故防止 ③二輪車、自転車の交通事故防止 ④シートベルト、ヘルメットの正しい着用の徹底 ⑤違法駐車車の締出し

シートベルト しめる心が 身を守る